

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

国立公文書館	
分類	返 赤
	3 A
配架番号	14
	40-10

88  
 10/10  
 R-7 Receiver, Single Sideband  
 SHIPPING ADVISE # 10116-H  
 SLACK #  
 ITEM #

第一 試験ノ目的  
 試験單側帯波受信機ノ試作完了セシテ以テ其在電波ニ依リ之  
 ガ構造、機能ヲ檢シ、製用ノ適否ヲ判定スルト共ニ容疑電波ヲ搜索  
 分析シ研究ノ資料ヲ得ルニ在リ

第二 判 次

一、本試験機、現在單側帯波通信電波ナク、其目録ニ依リ構造、機能  
 ヲ檢シ得ザリシモノ、供試機受機ハ構造機能概ネ良好ニシテ、其用ニ  
 適スルモノト認ムルヲ以テ之ヲ、陸軍中央通信部ニ移管シ、適  
 カニ動力化シテ、陸軍ヲ與ス

單側帯波通信機受機竣工試験並容疑電波分析試験要報

昭和十九年十一月三十一日  
 第五陸軍技術研究所

處理 用 濟 燃 油 其 旨 要 通 報

規則第七十一條適用

Single Sideband Receiver (Kokusai)  
 (Kokusai-Rec'ing Stn. (Kokusai))

国立公文書館	
分類	
配架番号	40-10

WASHINGTON DOCUMENT CENTER

ATIS - SHIPMENT No. DOCUMENT No. N<sup>o</sup> 383304

JICPOA 1 0118

CBI WDC (AREA) 21 JAN 1947 (DATE IN)

SEATIC (WHERE FOUND)

SHAEP (DATE FOUND)

AFHQ. MED. 6 27

NAVY ARMY

CLASSIFICATION 6 DISPOSITION

GPO 19-49008-2

国立公文書館

分類	
配架番号	40-10

尙其用益ノ状況ニテサバ成ルベク速カニ其目標存在ノ公算  
大ナル南方業務ニ於テ其用益ノ其目標ニ達スル機能ヲ確認スルツ  
事ス

二、容量電流分析結果ヲ要約スレバ左ノ如シ

1 印刷用電信

米系主要局ニ使用セラレ急激ニ増加ノ傾向ニアリ調歩式約九  
〇%、電流式約一〇%ニシテ單重通信ハ約七  
〇%、多重通信約三〇%ヲ占ム

2 写真及複写電流

主トシテソコ方面ニ使用セラレ急激増加ノ傾向ニアリ

3 高速電流

主トシテソコ方面ニ使用セラレ通信速度二〇〇%ニシテ極度ナル  
モ印刷通信通信ノ増加ニ反シ寧ろ減少ノ傾向ニアリ

4 電報電流

主トシテ反復式ニシテ通信系ハ電信ニ比シ急ニ少ク少數ノ極  
電流ヲ總メタルニ過ギズ

第三 試験成績ノ概要及所見要略

一、主要容量電流ノ概要結果ヲ示セバ左ノ如シ

1 印刷電信

イ、電流値三、五、一、三MOノ範圍ノモノ多ク晝夜同キ於ケル  
傍受電流概算計ヲ統計的ニ對比セバ昭和十七年度(七月)  
三ニ對シ昭和十八年度ハ概ネ一〇、本試験間ハ概ネ三〇ニ  
シテ急激ニ増加ノ傾向アリ

ロ、自十一月十八日至十一月二十五日調査被一八六ニ對シ  
調歩式ハ一六六ニ對シツバハ約一〇%ニシテ調歩式  
ハ概ネ九〇%ニ對シツバハ約一〇%ナリ  
ハ、調歩式一六六ノ内單重通信方式ハ一五、多重通信方式  
ハ一五一ニ對シツバハ約一〇%、多重通信方式ハ

三〇%ヲ占ム

ニ、方位ハ主トシテ約四〇度ニダツキハ「パー、バンクーバー」方向）及約九〇度（「ボルル」方向）及約一七〇度（「遼州、ソリベン、シドニー、メルボルン」方向）ガ大半ヲ占メ一部約二七〇度（重慶方向）ニ存シ明カニ米系重要回線ニ使用シアルモノト判断ス

## 2 模写及写真電送

周波數五一一三MOノ範圍ノモノ多ク一日中ノ實在周波數ハ一〇程度ニシテ写真ニ比シ模写ト認ムルモノ多ク方位ハ主トシテ三二〇―三五〇度ノ範圍ニアリ明カニソ聯系ト認メラル

## 3 高速度通信

周波數範圍ハ五一一三MOノモノ多ク通信速度ハ二〇〇ボウ程度ニシテ方位ハ二〇―三〇度（「香港」方向）二七〇度（重慶方向）三二〇度、三四〇度方向ノモノ多ク模写及写真ト同一機

種ヲ使用シアルガ如シ

## 4 反倒式電話（邦語ヲ除ク）

周波數範圍六一六MOニシテ正午ヨリ夜間ニ亘リ多ク方位ハ四〇―六〇度附近及二一〇―二八〇度附近ノモノ多シ

5 其ノ他ノ容疑電波ハ主トシテ擾乱方式ヲ用ヒタル写真又ハ模写電送ト判断セラル

## 二、所見及考察

1 實在單側帶波通信ハ鋭敏ナル指向性通信ヲ実施シアルモノト豫想セラレ又電波傳播上ノ見地ヨリスルモ中部又ハ南太平洋地區ト米本國又ハ濠洲トノ通信ヲ内地ニ於テ傍受スルハ不利ニシテ南方地域（「バンドン」）ニテ實在ヲ確メタル二、三ノ例アルニ鑑ミ之ガ傍受業務ノ主体ハ南方地域ニ置クヲ要スルモノト認ム

2 統計的ニ見ルニ高速度通信ハ逐次減少ノ兆アルモ印刷電信

ハ本年初頭ヨリ急激ニ増加ノ傾向ニアルハ注目ニ値スル傾向  
ニシテ固軍ニ於テモ整備上ノ難点ヲ克服シテ速カニ実用ニ供  
スル要アルヲ認ム

3 傍受業務ノ本質ト本試験ノ結果ヨリ考フルニ良ニ技術的内  
容ヲ充實シ急速ニ進歩セントスル敵性通信ニ対レザル処置ヲ  
講ズルコト緊要ナリ

之レガ爲五研ト陸軍中央通信調査部トノ連絡ヲ更ニ緊密ナラ  
シムルト共ニ速カニ技術的諸施設並ニ人的要素ノ擴充強化ヲ  
圖ルヲ急務トス

第四 供試器材及試験用器材

一、供試器材

試製單側帶波通信機受機 二機

- 1 と四五号イ型受信機（機械的自動周波數制御方式）一機
- 2 と四五号ロ型受信機（電氣的自動周波數制御方式）一機

二、主要試験用器材

- 1 固定式短波受信機 四
  - 2 半固定短波特殊受信機 一
  - 3 九四式五号型特殊受信機 一
  - 4 高感度記録器 一
  - 5 録音器（円板式及筒線式）各一
  - 6 周波數分析器 一
  - 7 周波數計 一
  - 8 電磁誘導器 一
- 三、空中線
- 一九〇度、九〇―一八〇度、一八〇―一七〇度及一七〇―一三〇度ノ四方向ニ對シテ特機ホ一〇ノアンテナナル指向電線中線（水平型）トテ及アンテナトツタテヲ使用ス

第五 試験場日及場所

自昭和十九年十一月十五日  
至同 年十一月三十日  
於小室受信所

第六 試驗員

主任者

陸軍技術中佐 武田修治  
陸軍技術大尉 倉科頼人  
陸軍技術中尉 飯島重孝  
陸軍技術中尉 村松金也

配 布 區 分		部 數	配 布 先	部 數
陸軍兵器行政本部	陸軍兵器行政本部	一二	陸軍大學校	一
第四航空技術研究所	陸軍通信學校	一	陸軍通信學校	一
東一造第二製作所	陸軍航空通信學校	一	陸軍航空通信學校	一
總務本部第十一課	滿洲第六三部隊	一	滿洲第六三部隊	一
參謀本部第二部四班	滿洲第五四九部隊	一	滿洲第五四九部隊	一
通信兵監部	中央通信調查部	一	中央通信調查部	一
陸軍航空本部	所 用	一	所 用	八
陸軍兵器部		一		

處理部 五技研記第一五八號

規則第七十一條適用

昭和二十年七月六日  
第五陸軍技術研究所

單側帶波通信傍受機竣工試験記事

本試験記事ハ五技研要第一四三號單側帶波通信傍受機竣工試験並答  
疑電波分析試験要報ニ附帯スルモノトス

第一 供試器材及試験用器材

一、供試器材

試製單側帶波通信傍受機

- 1 七四五型イ型受信機（機械的自動周波数制御方式）
- 2 七四五型ロ型受信機（電氣的自動周波数制御方式）

二、主要試験用器材

- 1 固定式短波受信機
- 2 半固定短波特殊受信機



8 九四式五端機特殊受信機

4 電話解読器

5 錄音器(円板式及鋼線式)

6 周波数分析器

三、空中線

〇一九〇度、九〇一八〇度、一八〇一、二七〇度及二七〇一三  
六〇度ノ四方向ニ對シ利得概ホ一〇デシベルナル指向空中線(水  
平エルメント型及ロンビツク型)ヲ使用ス

第二 試験ノ方法

一、供試器材及試験用器材ヲ以テ國際通信小室受信所ニ受信所ヲ關  
設シ北米、南米、重慶、歐洲向指向空中線ヲ以テ空界ヲ搜索シ單  
側波通信ト判定セバ供試器材ヲ以テ傍受シ構造、機能及取扱ノ  
便否ヲ檢ス 尙方向探知機ニヨリ該電波ノ方位ヲ測定ス  
二、試験実施附表ノ如シ

第三 試験成績

一、秘密性電話ノ大半ハ反倒式電話ニシテ通信系ハ電信ニ比シ遙ニ  
少ク小波ノ怪電波ニ依ル電話通信ヲ認メタルニ過ズ  
二、反倒式電話傍受結果並ニ方位角測定結果ハ附圖第一及第二ノ如  
シ

第四 試験期日及場所

自昭和十九年十一月十五日 於小室受信所  
至同 年十一月三十日

第五 試験員及実視者

一、試験員

主任者	陸軍技術中佐	武田修治
	陸軍技術大尉	倉科頼人
	陸軍技術中尉	飯島重孝
同		村松金也
同		内松大郎

中央通信部

陸軍技術部

電報技術部

目次	頁	日
1	1	十一月十五日
2	2	十一月十六日
3	3	十一月十七日
4	4	十一月十八日
5	5	十一月十九日
6	6	十一月二十日
7	7	十一月二十一日
8	8	十一月二十二日
9	9	十一月二十三日
10	10	十一月二十四日
11	11	十一月二十五日
12	12	十一月二十六日
13	13	十一月二十七日
14	14	十一月二十八日
15	15	十一月二十九日
16	16	十一月三十日

附 表  
軍用帶波通信傍受機竣工試験實施表

試 験 事 項	試 験 日	試 験 場 所	試 験 機 器	試 験 者
試 験 員 出 発 (主 力)	十一月十五日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
調 整、試 験 準 備	十一月十六日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
空 界 搜 索	十一月十八日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
容 疑 電 波 分 析 (方 式、區 分)	十一月十九日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
單 側 帶 波 通 信 傍 受	十一月二十一日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
容 疑 電 波、細 部 分 析	十一月二十七日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎
撤 收、帰 還	十一月三十日	試 験 場	試 験 機 器	伊 藤 直 次 郎

二、突 破 者

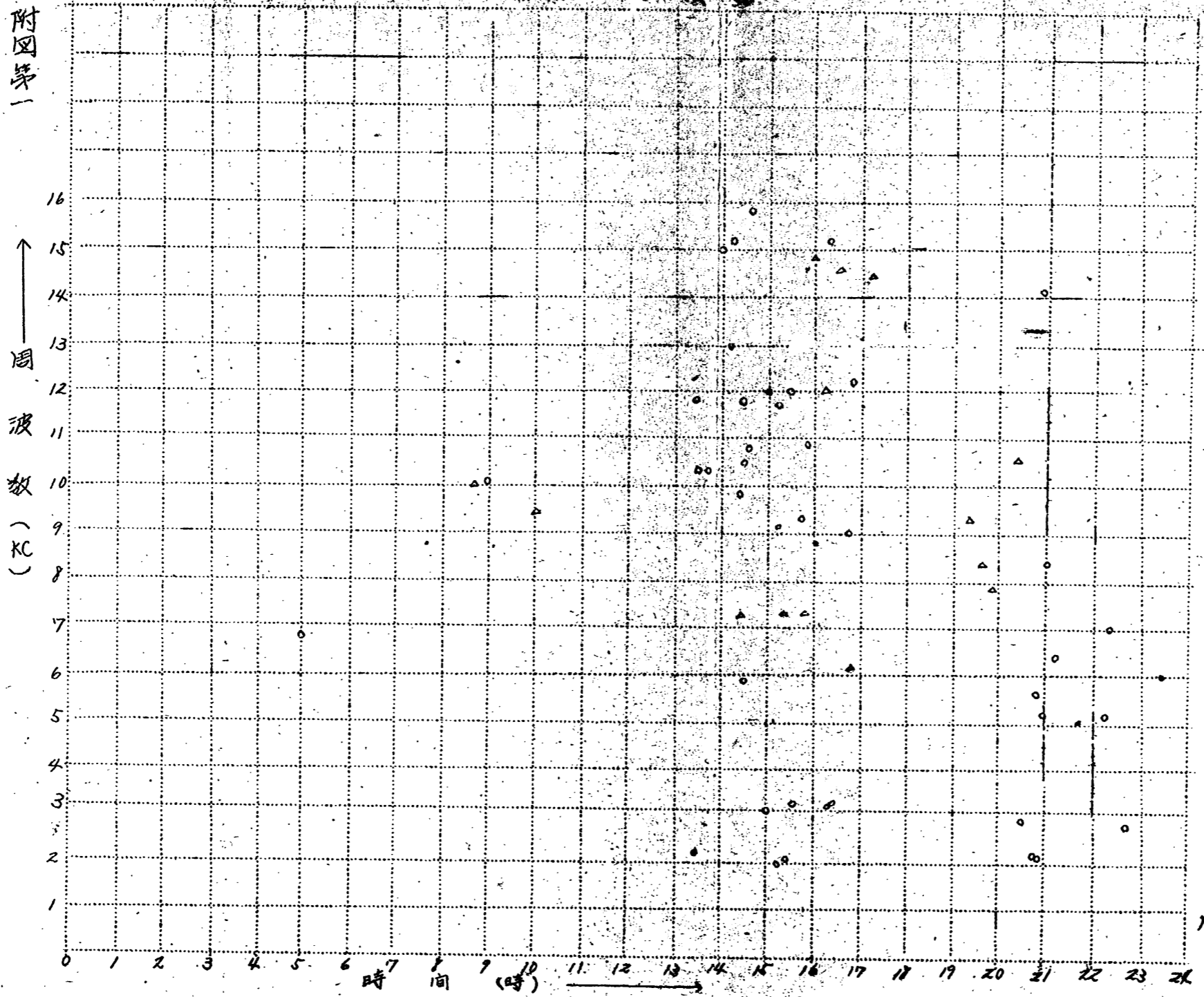
中央通信調査部 陸軍技術近 藤 敏 男  
同 上 岡 勝 男  
陸軍技術伍長 今 村 盛 英  
中央通信調査部 中村一等兵以下四名  
雇 員 小井手 文 一  
外 工 員 五 名

中央通信調査部 同 陸軍中佐 森 村 徹 男  
同 陸軍少佐 遠 藤 正 美  
参謀本部第十一課 同 陸軍少佐 遠 藤 正 美  
参謀本部第二部四班 同 神 谷 正 司  
参謀本部 伊 藤 直 次 郎

凡例 { ○ - 邦語  
          △ - 外語

波長式電話機送信成績

附圖第一



凡例 { ○—邦語  
△—外語

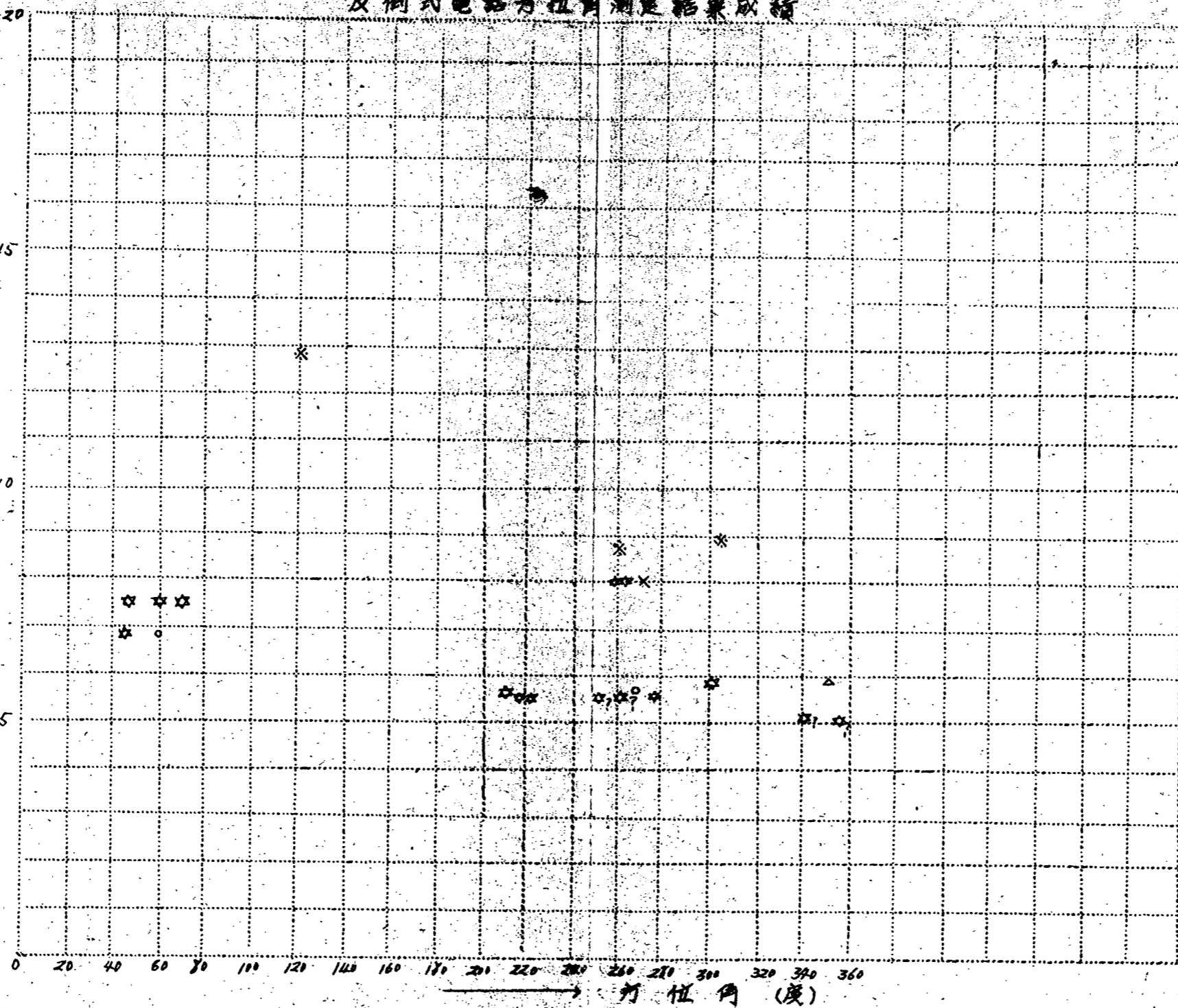
裏面白紙

反側式電話方位角測定結果成績

附圖  
第一

↑  
周波数  
(MC)

凡例  
○ 日語  
☆ 英語  
× 支那語  
△ 外語  
※ 其他

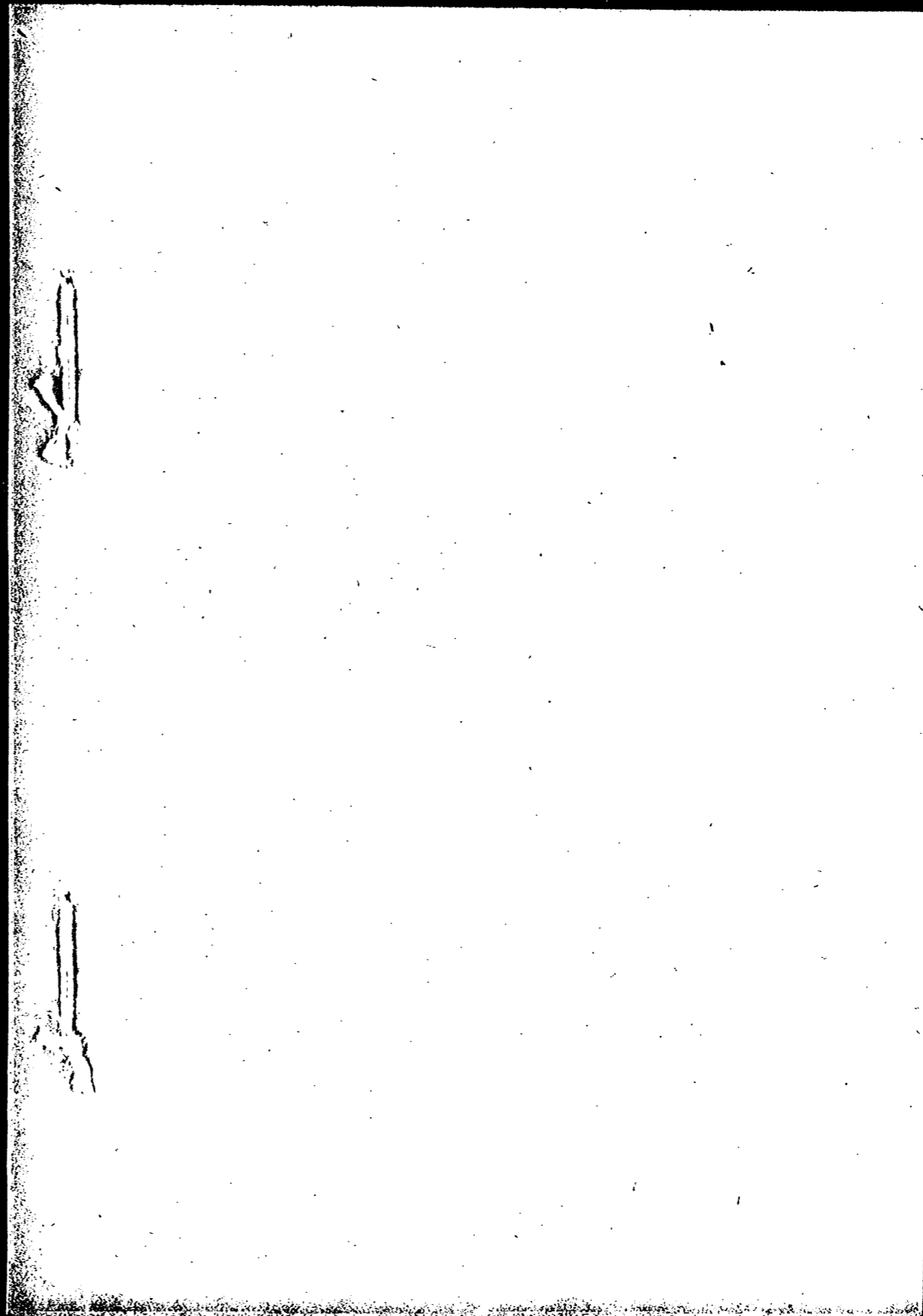


SHIPPING ADVICE # 10118  
ACK # 6  
ITEM # 27

SHIPPING ADVICE # 10118

ACK # 6

ITEM # 24





m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	(返) (赤)
配架番号	3 A
	14
	40-11

